

## 境内がステージに お寺でコンサート

お寺で心安らぐ音楽を楽しんでもらおうと、8月20日妙泰寺（西大道）で“OH寺 de コンサート”が開かれました。このコンサートは、大道地区の音楽愛好家らが始めたもので、今回で4回目になります。夕方6時半、境内に組まれたステージがライトアップされると、仁王像をバックにサクソや胡弓など6組のバンドの演奏が始まりました。集まった人たちは、「なんとも言えない素敵な雰囲気。バンドもバラエティーに富んでよかった」と普通のコンサートとはひと味違ったコンサートを楽しんでいました。



## まちの話題



## 豊作を祈り 武周ケ池で竜神祭



野見ヶ岳山頂付近にある武周ヶ池で、雨乞いを祈祷する伝統行事「竜神祭」が8月21日行われ、地元の人や登山愛好家ら100人が参加しました。

江戸時代ごろから行われていたとされる竜神祭は、

一時途絶えていましたが平成3年、牧谷地区の住民らで結成される武周ヶ池保存会（桂川秀雄会長）により復活。この日は、牧谷のログハウス前で入山式が行われ、詩吟「武周ヶ池に立つ」が披露されたあと、龍神太鼓保存会による太鼓が演奏され、参加者らは太鼓の響きに見送られながら山を登り、約40分で武周ヶ池に到着。

湖畔では保存会による雨乞い祈祷が行われ、お神酒を池に流し今年一年の豊作を祈りました。

## 歴史と文化遺産を学んで 今庄地区史跡巡り

8月23日、地区に残る歴史や文化遺産にまつわる由来などを知り、郷土を愛する気持ちを育もうと、今庄、湯尾小6年生65人が今庄地区史跡巡りを行いました。

児童らは、案内役の町文化財保護委員山本勝土さん（新道）と共に、慈眼寺を皮切りにアカタン堰堤、久喜遺跡と巡っていき、言奈地蔵の伝説や、北陸に入る玄関口木の芽峠では、松尾芭蕉など有名な俳人の往来もあったことなどを聞くなどして西光寺丸城址に到着。

「鯖江の西光寺住職真敬法師が信長軍の攻撃で戦死した場所で供養石碑が建てられた」と説明を受けるなど数ある史跡にまつわる話に耳を傾け、16ヶ所を巡り地区の歴史の足跡をたどっていました。



## 買物ご来店五万人達成 農産物直売所「四季菜」

8月24日、脇本にある農産物直売所「四季菜」で買い物客5万人を達成、5万人目となった佐々木清子さん（西大道）に記念品が贈られました。

佐々木さんは、「いつも普段着で気軽に買い物に来れるのが気に入っています。野菜の種類も豊富な上、新鮮。安くとても便利」と話し、山内博南農産物等生産組合長とともにくす玉を割り、5万人達成を祝いました。

四季菜の丸岡店長は「9時にオープンしますが、いつも開店を待っているお客さんがおり、一日の平均買い物客は約200人。商品は常に新鮮で安全な野菜の提供をと心がけ、生産者名を表示、安い価格で提供しています。これからも生産者と共に地域の皆さんの期待に応えていきたい」と話し、好調な滑り出しを喜んでいました。



## みんなですすめる交通安全 全国キャラバン隊が来町



「交通安全は家庭から」を指針に、全国でキャラバン隊活動を実施している“みんなですすめる交通安全”全国キャラバン隊（全国交通安全母の会主催）が、8月30日南越前町にやってきました。役場駐車場に到着したキャラバン隊は、増澤町長をはじめ南越前町交通安全協会や交通指導員、各地区の交通安全母の会ら約80人に出迎えられ、内閣官房長官からのメッセージを読み上げ伝達。

これを受けた増澤町長が「一路平安」と書いた色紙を手渡し「合併により町が大きくなりましたが、南越前町一体となり全力で交通安全活動に取り組みたい」と決意を述べ敬意を表しました。また、保育所園児25人も勇壮に太鼓を演奏して一行を歓迎しました。



## 老いも若きも大ハッスル 河野地区で体育祭

秋晴れに恵まれた9月18日、河野地区体育祭が河野小中学校グラウンドで行われました。

浜野敬悟君（河野中3・甲楽城）が聖火台に火をつけ、糠子ども会の子もたちが元気よく選手宣誓し競技開始。子どもからお年寄りまでみんながひとつになり一生懸命頑張りました。



## 地域の農業振興に一役 認定農業者に朝倉勇二さん

9月6日、地域農業の担い手として、新たに朝倉勇二さん（社谷）が南越前町農業経営改善計画の認定を受けました。

朝倉さんは現在、社谷区で約7haを経営しており、将来的にも経営規模拡大が見込まれることから、今回の認定となり、「定年を迎えたのを機会に、自分のこれまでの知識などを活かし、農業に取り組んでいけたら」と抱負を話していました。

朝倉さんを含め、南越前町で概ね5ha以上の経営を目標とする認定農業者は、26団体（個人25、法人1）。町内で農業経営を積極的に行うなど、農業生産基盤の強化に力を注いでいただきます。



## いつまでもお元気で 河野地区敬老会



敬老の日にちなみ、各地区で敬老会が催され、9月16日には、河野地区敬老会が河野総合事務所3階ホールで行われました。河野地区では、今年は74歳からが敬老会の対象で、約200人が出席。増澤町長が、「河野の方々、昔から魚貝類や海藻を豊富に食べ、雄大な日本海を眺め、大変おおらかな気がします。これからも健康に気をつけ長生きしてください」とお祝いのご挨拶を贈りました。

金婚者5組や米寿の方6名にお祝いを贈った後、河野保育所の子どもの踊りや、漫談トークショー、歌謡ショーなどに笑いとおおきな拍手を送り、楽しいひと時を過ごしていました。

## 高齢者慰問

## 町一番の長寿は山腰まぎさん104歳

9月20日、100歳以上の在宅の高齢者2人を増澤町長が訪問し、「お元気で何よりです。健康で長生きしてください」と激励の言葉を掛け、記念品を贈りました。



町内最高齢は山腰まぎさん（今庄）で今年104歳。

慰問を受け、「ありがとうございます。少し耳が遠くなりましたが、洗濯はもちろん自分のことは自分でしています。紙細工や手芸など細かい作業が得意」と作品を見せてくださいました。

また、上田イロさん（下牧谷）は102歳。

「自分のことは自分でやります。毎日、家の周りを見て歩き、草むしりが日課」と笑顔で答えていました。

